

令和4年度 東北ブロック協議会行動計画効果検証業務について

1. 実施目的

令和4年2月に改訂した東北ブロック行動計画（以下「行動計画」という。）の効果検証を行うため、図上演習等を実施し、発災時の対応力の向上を目指して行動計画の更なる改善や充実を図ることを目的として実施する。

2. 実施の背景

近年、自然災害が頻発化、激甚化してきており、全国各地で豪雨や地震により膨大な災害廃棄物が発生している。東北地方においても、本年に入ってから、3月の福島県沖地震、また、7月から8月にかけては、東北各県で大雨災害が発生し、相当量の災害廃棄物が発生している。被災自治体の中には行動計画を策定していたものの、初動対応において混乱したケースも見受けられる。そのため、行動計画策定後は、継続的に見直しを行うとともに、行動計画の記載内容等について自治体内で周知し、共有しておくことが重要である。

3. 具体的な実施内容

① 基礎研修

自治体職員の中には災害廃棄物処理に馴染みのない職員が含まれていることが想定されることから、図上演習が有効なものとなるよう、既存資料を活用した自習パッケージの提供のほか、災害廃棄物処理の基礎知識のインプットや図上演習の流れを理解する場として、勉強会や模擬演習を Web 形式で1回程度実施する予定。

② 行動計画の検証・充実のための図上演習

被災自治体への支援に向けた支援チーム設置等の庁内体制の整備や、支援チームが行う仮置場の状況確認、被災自治体で処理できない廃棄物の受け入れ調整支援等を円滑、迅速に行うことができるかどうかを検証するための図上演習を1回（1日間を想定）実施する予定。（図上演習の会場は仙台駅周辺を想定しているが、新型コロナウイルス感染症対策のため、Web 形式も活用したハイブリット方式の開催とする。）